

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名 No. 530203 自然林保全事業		主管課名 産業課									
	この事務事業の位置		課長名 久野 秀夫									
	政策	人と自然が共生する心地よい環境										
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち										
	基本事業	里山の保全										
	(1)事業の概要											
	県の作成する地域森林計画の対象となる民有林（地域対象民有林）について、森林法に基づく届出の確認、県への協議その他法令に基づく事務手続きを適正に行い、みよし市森林整備計画による地域対象民有林の整備、保全を行う。											
	(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)											
			名称	単位								
			伐採、造林の届出件数	件								
		森林面積	ha									
		その指標										
(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)												
森林法に基づく届出の確認、県への通知 県森林協会への加入												
26年度計画		前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)												
地域対象民有林												
		その指標										
(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)												
		名称	単位									
		地域対象民有林の面積	ha									
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)												
伐採、伐採後の造林の状況把握による地域対象民有林の保全												
		その指標										
(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)												
		名称	単位									
		伐採届出面積	ha									
		造林届出面積	ha									
(4)結果(上位基本事業の意図)												
市内に残る貴重な里山を保全し活用する												
		その指標										
(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)												
		名称	単位									
		被災面積	ha									
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
(5)の活動指標		件	2	4	2	2	2	2				
		ha	157	156	156	156	156	156				
(6)の対象指標		ha	153	153	153	153	153	153				
(7)の成果指標		ha	0.22	3.23	0.22	0.22	0.22	0.22				
		ha	0.22	0	0.22	0.22	0.22	0.22				
(8)の結果の成果指標		ha	0	0	0	0	0	0				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	02
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	10	10	10	10	10	10				
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
		県支出金	千円	0	0	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	0	0				
		一般財源	千円	10	10	10	10	10				
人件費B		千円	19	19	19	19	19	19				
正職員従事時間×人数		時間×人	1×5	1×5	1×5	1×5	1×5	1×5				
正職員以外の人件費		千円										
その他費用C		千円										
トータルコストA+B+C		千円	29	29	29	29	29	29				
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/ ha	0	0	0	0	0	0				
		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	530203自然林保全事業			
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？		
	昭和26年以降			から		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			森林の占める面積割合が小さく、森林業に携わる者が少ない状況で、森林保全が適正に行なわれるための制度の周知、情報提供を行う必要がある。		
森林法の施行による						
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？						
変化していない			変化した内容			
変化している						

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	森林法	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
		自治事務	→	根拠法令				
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由			
		結びつかない	→					
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	拡大	内容		
	できない	→	縮小					
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	追加	内容			
	できない	→	拡充	絞込み				
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	→		理由又は内容			
	多少影響がある							
影響はない								
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容			法による届出制度の周知徹底		
	できない							
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？								
(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業名	類似事業との再編の可能性	ある	内容		
	ない						ない	
(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容					
	ない							
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容					
	ない							
(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	現状で適正	内容				
	ない						検討が必要	
受益者がいない								

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど						